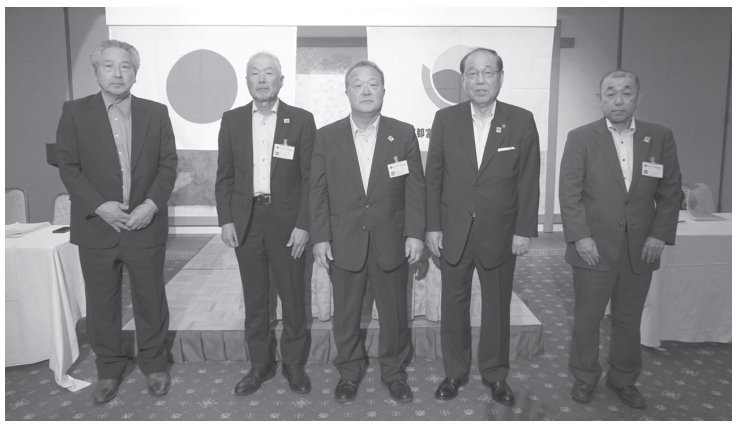
宇管工総会

中村理事長ら全役員再任

工事受付センターを新設

宇都宮市管工事業協同組合は5月31日、宇都宮市のホテルニューイタヤで第72回通常総会を開催。2023度事業報告・収支決算、24年度事業計画・収支予算など全議案を原案通り可決。任期満了に伴う役員改選では中村勝理事長（水戸設備工業）、小牧伸敏（小牧工業）、柿沼操（柿沼工業）の両副理事長をはじめ全員の再任を決定した。



左から柿沼副理事長、小牧副理事長、中村理事長、和田顧問理事、川俣専務理事

ホテルニューイタヤで開かれた総会

中村理事長は「労働者不足、原材料価格高騰など厳しい状況が続くなか、最重要事業の資材販売に邁進し、工事に関する共同受注を目指していく。組合員の受注機会を創出し、人手不足にも対応する管工事受付センターを新設するなど新たな事業に取り組む。様々な組合事業や社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたい」とあいさつした。

今年度事業計画は①共同購入・共同販売、組合諸行事、市上下水道局等との継続的な意見交換②経営合理化と実務研修③諸資格取得受講・受験への参加連絡指導（1級2級管工事施工管理技士、建築設備士、給水装置工事主任技術者、排水設備工事責任技術者）。

経営合理化と実務研修では安全パトロール（9月頃）や労働災害防止セミナー（11月頃）、人材確保セミナー、学校業務職員水回り研修会（9月頃）、分水作業実技講習会（3月頃）を実施。共同受注事業に向けた体制づくりに取り組む。

議事に先立ち、昨年度に組合から資材を購入した上位15社に対し報奨金を贈呈。永年勤続優良従業員表彰は10～30年の32人が受賞した。

総会終了後、市上下水道局の水道メーター検針や窓口の一部業務を担っている株式会社ライデックの社長について、組合の和田均顧問理事から中村理事長に交代することが報告された。

役員、報奨企業、永年勤続表彰受賞者は次の通り。

◇役員

▽理事長　中村勝（水戸設備工業）

▽顧問理事　和田均（和田工業）

▽副理事長　小牧伸敏（小牧工業）、柿沼操（柿沼工業）

▽専務理事　川俣浩（員外理事）

▽理事　黒川平（大森設備工業）、小堀昌宏（コボリライフ）、熊谷圭司（熊谷工業）、星野良成（星野工業）、神宮厚（日神工業）、上澤智治（上信建設）、黒澤佳樹（東栄設備工業）、渋谷知則（シンエイ企業）

▽監事　和氣俊充（和氣設備工業）、岡田典子（岡田設備工業）、西浦徹（西浦工業）

◇報奨企業

①日下田工業②上信建設③渡辺建設④熊谷工業⑤植竹設備工業⑥総和興業⑦柏建設⑧エム・プロダクト⑨シンエイ企業⑩和田工業⑪三興設備⑫小牧工業⑬藤井産業⑭田中工業⑮水戸設備工業

［永年勤続表彰］

◇30年

▽菊池昌幸（熊谷工業）、田代康久（河内山工業）、坂本弘（小牧工業）、入江明夫（北斗管工）、好本健二（和田工業）

◇25年

▽甲斐英樹（熊谷工業）、古口義久（小牧工業）

◇20年

▽野口裕也（宇都宮ヤマイチ）、菅野谷忠明（同）、山本俊紀（熊谷工業）、蓮見剛一（小牧工業）、鶴田秀一（同）、庄子紀子（同）、小松幸男（北斗管工）、舘浩史（同）、佐藤麻希子（組合）

◇15年

▽渡邉重二（宇都宮ヤマイチ）、荻野紳太郎（同）、善林義弘（同）、小野口好秀（コボリライフ）、山田重晴（東栄設備工業）、上野将一（和田工業）

◇10年

▽須藤秀和（アイファースト）、森田亨（宇都宮ヤマイチ）、木村淳子（同）、天一道（河内山工業）、斉藤尚道（コボリライフ）、内藤浩輝（小牧工業）、酒井崇宏（輝工業）、栗栖順一（北斗管工）、齋藤悦史（ヤマカエンジニアリング）、和久井麻美（組合）

県コンクリ製品組合　山岸理事長を再任

副は渡部氏（新生興産）、佐藤氏（パスキン工業）が新任

県コンクリート製品協同組合は5月31日、宇都宮市平松町の組合事務所で第48回通常総会を開催した。2024年度事業計画・収支予算など全議案を承認。任期満了に伴う役員改選では山岸信介理事長（八幸製作所）、伴瀬政孝副理事長（船生コンクリート工業）を再任。新副理事長に渡部龍也氏（新生興産）と佐藤靖氏（パスキン工業）を選任した。

左から佐藤副理事長、渡部副理事長、山岸理事長、伴瀬副理事長

山岸理事長は「組合運営をさらに強固なものとするため、組合として新製品の開発も考えていかなければならない。県県土整備部、県農政部、県土連、県建設業協会などのアドバイスをいただきながら活動していく。安定した組合運営のため協力をお願いする」とあいさつした。

議事では23年度事業報告・収支決算、24年度事業計画・予算案、役員改選など全8議案を全会一致で承認。

事業計画は①組合運営の安定②組合活動の推進③組合製品指定制度（TCC）の推進④製品価格の適正化に向けた取り組み―の4項目が柱。顧客から信頼される高品質な製品の安定供給に取り組んでいく。

役員は次の通り。（○は新任）

▽理事長　山岸信介（八幸製作所）

▽副理事長　伴瀬政孝（船生コンクリート工業）、○渡部龍也（新生興産）、○佐藤靖（パスキン工業）

▽理事　佐藤君樹（佐藤コンクリート工業）、森田信司（三和コンクリート工業）、塩野目功（塩野目ブロック）、○加藤政博（武井工業所）、神薗仁一（轟工業）、手塚光一（員外）

▽監事　沼尾真弘（坂本産業）、○倉持克巳（中川ヒューム管工業）

県南舗装協組

30周年を機に一層の飛躍

繁栄誓い44社が一致団結

県県南舗装協同組合（小林正治理事長）は5月31日、小山グランドホテルで第30回通常総会を開催した。2024年度事業計画・予算、23年度事業・収支決算報告を原案通り承認した。組合設立30周年の節目を迎え、組合員44社が一致団結し一層の繁栄と飛躍を誓い合った。

小林理事長

横尾所長

佐藤勉衆議院議員、顧問の板橋一好県議会議員、相談役の佐藤良県議会議員、来賓には県栃木土木事務所の横尾元央県土整備部参事兼所長、須藤賢昌次長兼企画調査部長、県下都賀農業振興事務所の野口吉弘農村整備部長が招かれた。

小林理事長は「働き方改革に対応するため、互いに知恵を出し合いながら明るい未来を開きたい。我々は受注産業であり、舗装工事の安定的な発注と予算確保を関係機関に要望していく。発注者ニーズに応え、舗装技術の向上でより良い施工を提供する」とあいさつ。

横尾所長は「管内は延長約500キロの道路を管理する。交通量の多い路線が多く、舗装劣化の進行が速い。現場状況に見合った適切な施工方法の確立や事後保全から予防保全への転換が不可欠。計画的な舗装の維持修繕に向け、予算確保に努めていく」と約束した。

野口部長は「農作物の荷崩れを防ぎ、搬入搬出がスムーズになる農道の整備は重要。県は市町の団体営事業や土地改良区の農道舗装事業を積極的に支援し、食を支える収益性の高い農業を確立する。市町や土地改良区と連携を密に農道の機能向上を図る」と述べた。

佐藤衆院議員、板橋、佐藤の両県議は「週休2日制工事の導入で工期が延びれば経費が掛かる。皆さんの要望や意見を吸い上げ、国道や県道の舗装打ち換え予算を可能な限り確保する。業界を知る者の代表として皆さんの声を関係機関に届けたい」と語った。

24年度事業計画は齊藤純夫理事が説明。①関係機関への工事受注拡大要望②技術向上や経営改善の研修・講習会③労働安全対策の推進④組合員の親睦と福利増進⑤災害時対応の強化、地域社会への協力⑥関係団体行事への積極参加―を効率的に推進する。

組合員の結束を誓った第30回通常総会

戸部社長（中央）に感謝状が手渡された

東洋測量設計　創業60周年記念

宇都宮市に100万円寄付

東洋測量設計（宇都宮市西川田本町4丁目、戸部康彦社長）は3日、創業60周年を記念し宇都宮市に100万円を寄付。佐藤栄一市長から戸部社長に感謝状が手渡された。式には佐藤和己技術部長も出席した。

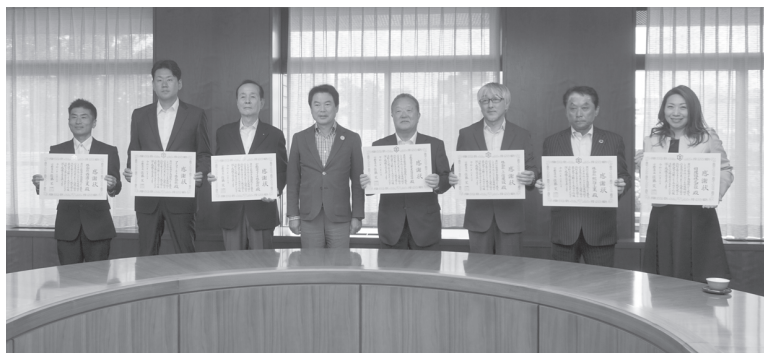
戸部社長は「公共事業が主体。恩返しのため寄付した。70周年の時も寄付したい。測量は社会基盤の礎。事業の最上流となる業務で間違えることはできない。これからもしっかりとした技術を提供する」と語った。

佐藤市長は「様々な場面で大切に活用する」と感謝の言葉を述べた。

宇都宮市

宇管工の応急復旧活動に感謝状

能登半島地震で



中村理事長をはじめ７氏に感謝状が手渡された

宇都宮市は3日、能登半島地震応急復旧活動に尽力した市管工事業協同組合（中村勝理事長）への感謝状贈呈式を開催。中村理事長、宇都宮ヤマイチの山本幹夫社長、柏建設の柏村美加取締役、上信建設の上澤智治社長、アイファーストの船山尚哉社長、熊谷工業の熊谷圭司社長、西浦工業の西浦徹社長に佐藤栄一市長から感謝状が手渡された。

中村理事長は「率先して被災地へ向かいたいという若いメンバーが増えてきており、頼もしく感じている。先輩後輩がつながり、万が一、宇都宮が被災しても迅速に復旧作業に当たれるようにしたい」と語り、同席した会員に労いの言葉をかけた。

佐藤市長は「現場の状況が把握できない中で皆さんの経験がものを言った。被災地から精神的に安心した、先を見ることができたという声があった。上下水道局の抱える課題にも力を貸してほしい」と感謝の言葉を述べた。

式には上下水道局の大竹信久上下水道事業管理者、小久保雅司経営担当次長、荒川慶弘技術担当次長も出席した。

市管工事業協同組合は1～3月に石川県の水道管路の漏水調査・修繕を市上下水道局職員とともに実施。1次派遣（1月18～24）では宇都宮ヤマイチが志賀町、2次派遣（2月18～24日）では上信建設、柏建設、組合事務局が輪島市、3次派遣（3月15～21日）では西浦工業、熊谷工業、アイファースト、組合事務局が輪島市に出向き、応急復旧活動に汗を流した。

栃建協ら

25日に土木実行予算講習会

定員80人、18日まで受付

2024年度土木工事実行予算作成実務講習会が25日午前9時から午後5時まで、宇都宮市簗瀬町の県建設産業会館で開かれる。主催は県建設業協会、県土木施工管理技士会。定員は80人。全国土木施工管理技士会連合会認定のCPDS対象で、7ユニットが付与される。

講師は建設物価調査会の専任講師。カリキュラムは①実行予算の重要性②実行予算作成の基本的な考え方③コストサイクルと実行予算④実行予算作成方法⑤実行予算資料の作り方・求め方⑥実行予算と施工計画の事例解説⑦演習⑧演習の解説―など。

受講料（税込み）は会員と賛助会員が1万2100円、一般が1万2100円。講義は「改訂10版『土木工事の実行予算と施工計画』」を参照しながら進行する。

申し込み先は県土木施工管理技士会（電話028－639－2611、FAX028－639－2985）で18日までFAXで受け付ける。

人・夢・技術グループ
『確かな技術で道路から鉄道まで』それが私たちの使命です。
PCRW
株式会社 ピーシーレールウェイコンサルタント
代表取締役社長　荘司　和彦
本社　栃木県宇都宮市元今泉３－18－13
TEL 028-639-0353㈹　FAX 028-639-7500
支店営業所：東京・仙台・長野・北海道・盛岡・茨城・埼玉・八潮・神奈川